小鞠！

ドキ

ガバッ

放課後、部室で二人っきりになると温水は背後から私を抱きしめ、小ぶりな胸を揉み始めた

ふにっ

ふにっ

怒らない私の反応を確かめると

ひゃっ♥

胸を揉みながら首筋、敏感な耳を舐めまわし

んっっっ

ビクッ

唇を奪うと、私の舌を吸い始めた

唾液うまっ

ぷっはぁ♥
つっ次は、小鞠の
オナニー見たい！

温水は私の腋や胸、
自慰で濡れ始めたアソコを
じっくり見ながらシコり始めた

シコ
シコ
シコ
シコ
ふー…
ふー…

私を
オカズに
3発ヌイても
立ちっぱなしの
温水は：

そろそろ
マ○コで
ヌキまくるか！

ぐちゅっ♡ぐちゅっ♡

そこからはセックス漬け♥
温水はそーとー溜まっていたのか

あぁッ…♥

あぁッ…♥

あぁッ…♥

私のマ○コにこれでもか
というくらいに子種を
注ぎ込んだ

ぱんぱん
ぱんぱん
コン
コン
ビクッ

えっと・・温水妹・・

お兄様は
いらっしゃいますか？

え～と今、
取り込み・・・
きっ着替え中で

ぐぽ

ぐぽ

ガラッ

ぐぽ

ぐぽ

あっ後で
来てもらえると・・

あぁ
手遅れみたいですね

え？
手遅れ・・

お兄様、
コンドームを
忘れて

コンドーム

お兄様の精子は
とんでもなく濃いので

ドクンッ♡

ドクンッ♡

ドクンッ♡

ドクンッ♡

妊娠率が桁違い
なんです！

一足遅かったみたいなので失礼しますね

お・・・義姉様・・・

はぁッ♡

はぁッ♡

ほんとだ・・・

じゅるっ♡

凄く濃い♥

責任とれよ

馬鹿温水♥